

CAVOKV 航海日誌 2013 年#2

4/24(Lindos)～5/14(Ayios Nikolaos)

2013 年 5 月 15 日松崎義邦氏メール

皆様に

Rhodos 島から Karpathoth 島、そしてクレタ島の東にある Sitia 迄順調に航海してきましたが4月26日 Sitia から Iraklion に向い機走中、急に推進力が落ちてしまい途中の Ayios Nikolaos に入港する羽目になってしまいました。

エンジンの回転は通常通りなのでプロペラの破損かと思いエンジンを停止してニコラウス港に入りました。港に入り点検した結果プロペラは異常ありませんでした。

マリーナの整備士と一緒にテストランをした結果クラッチの不具合と云うことでクラッチを取り外してアテネの工場に送り修理しました。送り返されたクラッチを再度取り付けたところ不具合は解消されず再度アテネに送り修理する結果になってしまいました。

4月26日から5月14日現在クレタ島で足止めになっています。丁度この期間ギリシャは復活祭の長期休暇で仕事が進まず修理が遅々として進みませんでした。

池田先輩、上田さんのご主人は本来サントリーニに5月4日から乗艇する予定でしたが急遽変更して頂きクレタに来ていただきましたがクレタから航海することなく14日に地中海でのセーリング無しで帰国する羽目になってしまい大変申し訳ない事をしてしまいました。

そんな中でもクレタ島を観光したり、日帰りでしたがフェリーでサントリーニにも行ってきました。又5人での食事はタベルナでのギリシャ料理、CAVOK5での夕暮れ時の食事と楽しいものでした。

幸いにお二人にお気遣いして頂きこの事態になってもそれなりにクレタで楽しんで頂き感謝する次第です。クラッチの修理が終わり次第サントリーニに向かう予定です。

Crete 島 Ayios Nikolaos にて

航海日誌#2

4月24日(水曜日)Lindos～Karpatoth (58NM) 快晴 N10～20ノット

今日は58NM 走るので朝06時15分日の出15分前に出航する。

夜間の入港はしないことにしているが出港に関しては暗いうちに出港することがある。これは地形が入港時に分かっているので安全に心配なく出港できるからだ。

出港して2時間ほどしてからアビームからの15～20ノット良い風が吹き出して7ノット平均の速度が

続く。地中海の風は強風時以外は気まぐれで昼過ぎにはこの風も凧になり機走で 15 時 15 分にカルパトス港に入港する。



埠頭に横付けしようとするドイツ人が 2 人駆けつけてきてくれて舳れを取ってくれる。そのうちの一人の Gerald さんは実に 5 回目の出会でポルトガル、スペイン、シシリーそして今日と素晴らしい偶然の出会いだった。

彼らの止めてある場所が違う場所であったので、片づけた後彼らの船にお邪魔してワインを頂く。

夕食はカレーライスをラッキョウで頂く。

4 月 25 日(木曜日)Karpatoth~Sitia(68NM) 快晴 NW25~30

今日も距離が長いので早く 06 時 15 分に出港する。

当初の予定では 25NM 先の Kasos に寄港する予定であったがクレタに早く行くことにして Kasos を飛ばしてクレタ島の東側にある Sitia 港に向かう。

Kasos を過ぎてから風が強まり時折 30 ノットを超える風になりジブ、メインとも 3 ポイントリーフそしてエンジンもかけてのぼり一杯のレグを 40NM 走る。久しぶりに波もかぶり CAVOK V にとってはハードなセーリングであった。

お昼はリングだけにして 17 時 30 分に入港してから濡れたものを干す。3 艇程岸壁に横付けしていたが我々の艇も横付け出来た。タクシーのドライバーがわざわざ車から降りて舳れを取ってくれた。前方キャビンの空気取り入れ口から海水が入り布団が濡れてしまった。

疲れもあり夜は昨日のカレーをうどんに入れて頂き、艇のシャワーを浴びて早く就寝する。

4 月 26 日(金曜日)Sitia~Ayios Nikolaos(50NM)快晴 WVN12~18 ノット

今日は 50nm 先の Iraklion 迄行く予定で 8 時に出港する。風の予報が北だったが、西の風が吹き完全な向かい風になったので機走する。昨日より風が弱く助かるが真向いには参る。

35nm ほど走ってニコラウスを過ぎた時に突然エンジンの回転が 2200 回転から 1500 回転に落ちた。浮遊物が浮いていたのでこれがプロペラに絡まったかと思い、バックに入れてから再度前進させたが 4 ノット以上の速度が出ずプロペラの不具合の可能性もあるので風上のイラクリオンを諦めて 12 時 30 分に風下のニコラウス港に寄港することにする。

ニコラウス港はマリーナもあり整備、上架もできるので安心だ。そしてここは冬の越冬を昨年する予定であったが一杯ということで断られたところだ故障の原因が分からないのでエンジンが使えずセーリングだけで行くが、途中までは良い風だったが半島の中に入ってから風が止まり約 12nm の

距離を 5 時間かかり 17 時 25 分に入港する。

入港後早速潜ってプロペラを見るがまったく異常が無い。ということはクラッチが滑っている可能性もあるのでメカニックにみてもらうことにする。偶々前に舫ってある艇が整備中でメカニックが居たので直ぐお願いする。明日午前中に見てくれるということで安心する。

夕食は近くの湖の脇にレストランが沢山あるということでそこで食べることにする。立ち並ぶレストランの選択は難しいが日本に行ったことがあるという元船員が呼び込みをしている店に入る。

クレタ島名物のカタツムリとそしてクレタ風味揚げ餃子も名物なのだが見つからず似たような揚げミートボール、そしてラムのグリルとグreekサラダを地元ハウス赤ワインで食べる。この小さな池みたいな湖は汽水湖だそうだが大変深くそしてサントーリ島と繋がっていると自慢げに説明してくれた。

4 月 27 日(土曜日) Ayios Nikolaos 快晴

雲一つない素晴らしい天気だ。今日午前中に来るはずのメカニックは待てども来ない。

仕方なくマリーナの別のメカニックに依頼に行く。彼らの見解もクラッチのトラブルが99%だと云う。不幸なことに来週はギリシャも休みで部品を取り寄せるのが再来週に為るかもとのこと、こちらは先があるから何とかして欲しいので最善策をお願いする。



結果イラクリオンに行く予定が行けず、ここでのんびり過ごすことになった。

港の隣の海水浴場では今日も泳いでいた。シャワーを浴びた後夕暮れをコックピットでお酒を飲みながらゆっくり過ごす。ここもシーズンが始まり艇の上ではそれぞれ夕暮れを楽しんでいる。

夕食はオムレツ、ラトーユとサラダを頂く。女性軍が食事を作ってくれるので助かると同時に大変ハッピーである。

4 月 28 日(日曜日) Ayios Nikolaos 快晴

日曜日でメカニックも休みなのでレンタカーを借りて約 60 km先のイラクリオン迄行くことにする。レンタカーも日曜日で休みであったが、電話すれば OK とのレンタカー会社があり電話したら OK の事助かる。

クレタ島はクレタ文明(ミノア文明)で有名だが新石器時代の紀元前 6000 年前から人が定住していた。青銅器時代に入り紀元前 2600 年代にミノア文明が始まり紀元前 1100 年代迄続くが紀元前 1400 年代にはアカイア人に占拠されて、紀元前 1400 年代にミノア文明が突然滅びたとも言われている。

1900 年前後にイギリス考古学者アサー・エヴァンスによってクノッソス宮殿が発掘された。発掘された遺跡のほとんどは市内の考古学博物館にあるということなので最初に考古学博物館に行く。



展示品の一部が修復中で見ることが出来なかったが新石器時代からの遺跡が集まりミノア時代のフレスコ画に至るまで展示されていた。

この後クノッソス宮殿に行き修復されている王座の間、女王の間、壁画の部屋等を見て回る。壁画はレプリカで本物を見ることはここでは出来ないが当時の技術の高さ、繁栄を見ることが出来た。

帰りにニコラウスの近くにある小さな港町エルンダにより綺麗な景色を見ながらカラマリのフライと小エビのガーリックグ

リルを食べる。ここエルンダは BBC で紹介され、一気に人気が出たところだそう。

艇に戻るとロードス島のリンドスで知り合ったイタリア人のカップルの置手紙があり、明朝再度訪ねてくるとの事だった。メールでやり取りをしていたが我々が急遽ニコラウスに寄るということでここに二人は宿をとったそう。

彼女は日本に 2 か月程いたことがありとてもフレンドリーで好感が持てた。明朝朝食を CAVOKV でご一緒することにして休みにつく。

4 月 29 日(月曜日) Ayios Nikolaos 快晴

朝食をイタリア人カップルと約束をしていたので CAVOKV では純日本風の味噌汁、おにぎり、漬物を用意する。彼女は日本食を知っていたがベジタリアンの彼は日本食を知らないので食べられるか心配であったが口に合ったようだ。

朝食後メカニックが来て海に出して現象を再度調べる。エンジンの回転数と推進力と調べてやはりクラッチの不具合の可能性がほぼ 100% ということで明日クラッチを取り外すことになった。

お昼は海藻入りお蕎麦を頂く。腰があり味も美味しかった。やはり日本食は美味しい。

午後は海岸線をドライブして海岸線の景色とミノア人の集落の遺跡を見て回る。

夕食はクレタに三度目と云う例のイタリア人が教えてくれた Mochlos の漁村で目の前にある島の遺跡と夕日を見ながら食事をする。頼んだカラマリのグリルは新鮮でシェフがこれはレモンをかけないでそのまま食べるようにと教えてくれたが見事にその通りで美味であった。そのほかに大エビ、うちわエビ(ここでは Clayfish との記述)を食べるがそれぞれ調理も口に合い大満足であった。

4 月 30 日(火曜日) Ayios Nikolaos 快晴

朝のんびり寝ていると 9 時前にメカニックがクラッチを外しに来る。信頼できるメカニックで安心して

作業を見られる。取り外したクラッチをアテネに運び修復した後送り返されるとのことだが、5月3日から復活祭(パスカ)がありこの前後がこちらのお休みになっている。

日本のゴールデンウィークと重なっている。そんな訳で場合によっては復活祭明けに部品が届くことになるとの事なので今後の計画に影響してくる。

3日に池田先輩、上田さんのご主人がサントリーニに来て一緒に予定だったがほぼ不可能なので出来ればクレタ島にアテネより来てくれるようメールを打つ。ヨット航海での待ち合わせの難しいところだ。



クラッチも外れてすることもないのでお昼ソーメンを食べた後女性陣を置いて一人で海水浴に行く。

海水も冷たくなく大理石の小石の海底の上で気持ちよく泳ぐ。テラスのあるタベルナでフレッシュオレンジジュースを飲んで戻る。

暫く此処の滞在になるので再度レンタカーを借りに行く。安いレンタカーを探したら1週間126ユーロで借りられた。

夕暮れを艇で楽しんでいると何と一週間前にカルパトスであったドイツ人のGeraldさんと、彼の友達が訪ねてきた。2010年スペインのリバデオで会ってから6度目の出会いになる。奇跡に近い奇遇である。彼らと一緒にアピタイザーを楽しむ。

夕食はいつものサラダとマシュルームソースの鶏肉のソテーをインゲン豆の付け合せで頂く。

5月1日(水曜日)Ayios Nikolaos 快晴

今日はここから260km先のハニアまで行く予定だったので8時に出発する。

途中海岸沿いにあるマリア遺跡を覗くが閉まっていた中を見ることが出来なかった。

マリアからの海岸沿いの国道は山側を走るが両サイドに咲く夾竹桃が5分咲きだが海の蒼、空の青と相まって綺麗な景色を醸し出していた。

そして更に途中でレシムノに寄る。ここはローマ、ヴェネツィア、オスマントルコの支配を受けてきたところだ。旧市街地はヴェネツィア時代の街並みが残っていて、おしゃれなお店が軒を並べている。港の脇にはヴェネツィア時代の城塞が構えていて、当時オスマントルコからの攻撃から守るために築城された。

ヴェネツィアの面影があるのかイタリア料理店が多い、久しぶりにイタリア料理をお昼に食べる。ナポリターナ、ラザーニア、サラダを頼むが3人でも余るぐらいの量があった。味の方は今一つであった。そうこうしているうちに時間も過ぎてハニアに行く時間が無くなりアイオ・ニコラウスに帰ることにした。

夕方 5 時に艇に戻りゆっくり過ごす。好きな時間だ。

夕食はサラダ、豚肉のソテー、ポテトサラダそしてご飯を頂く。此方で購入した丸米(ショートグレイン)も結構行ける。

明日海水浴の誘いがリンドスで知り合ったイタリア人クリスティーヌからあったので 10 時に約束をする。又世界一周をしたハーモニー号の須藤さんからニコラウス在中の安田一郎さんを紹介して頂き一両日中に合う約束をした。

5 月 2 日(木曜日) Ayios Nikolaos 快晴

今朝このメカニックがアテネと連絡を取ってクラッチの修理の情報をくれる。丁度復活祭の休みで何と 5 月 8 日まで工場はオープンしないとのこと最速で 10 日に修理が完了するとの事である。池田さん、上田さんご主人の予定の下船は 14 日 Samos 島であるがその前日まで到着するのは大変難しくなる。

今後の計画に頭を悩ます。

10 時 30 分にクリスティーヌさん達と彼女達が借りているコテージの近くで待ち合わせて前回夕食を食べに行ったマコロスの海岸に行き海水浴をする。水は若干冷たかったが十分に泳ぎを楽しめた。

お昼を海辺のタベルナで食べる。グreekサラダ、茹で野菜、鯷のグリル、イカのフライ、ギリシャ料理のザジキを 6 人でシェアする。ビール飲んで 40 ユーロのお値段だ。大変おいしくかつ安いので嬉しくなる。

その後内陸の高原の方にある小さな素朴な村を案内してくれた。お花をきれいに飾った家々の庭から下のオリーブ畑の景色が良く見えた。ギリシャコーヒーを木の下にテラスのあるバーで飲んで彼女たちのグループと別れて帰る。彼女たちのお蔭で海水浴、村の風景を楽しめた。

夕食はタイ風激辛カレーをポテトサラダで頂く。此処のところ酒量が多くなっているのでお酒はビール一缶で抑える。

5 月 3 日(金曜日) Ayios Nikolaos 快晴

明日から池田さん、上田新次郎さん(上田さんご主人)が来艇されるので艇の大掃除を午前中する。

お昼カレーライスを食べた後ゼウスが誕生した地であると云われているディクテオン洞窟に行く。広い牧草地帯のある盆地から洞窟まで階段を 15 分程登るが洞窟は鍾乳洞であり特筆すべきものはなかった。盆地には地下水をくみ上げるための風車が点在していて綺麗な風景だったそうだが現在は一部観光用に動いているだけだった。

ゼウスの父クロノスは「己の息子によっていつの日か、打倒されるであろう」という予言を聞いて次々子供が生まれると飲み込んでいたが、それを悲しんだ母親レアはひそかにクレタ島に渡り末っ子のゼウスを生んだとされている。

夕食は現地で仕事をしている安田さんの奥さんのサリーさんが働いているというイタリアンレストラン“ラ・トラータ”に行く。行くと既に連絡が入っていて歓迎してくれる。

サリーさんは日本語をしゃべりとっても感じの良い素敵な女性であった。フォカッチャをザジキで、ムール貝、グreekサラダ、ラムチョップ、ヒレステーキをクレタ産赤ワインで食べる。お客さんにリトアニアから来たと言う女性が居て CAVOK5に遊びに来るよう約束する。

5月4日(土曜日) Ayios Nikolaos 快晴

アテネからオリンピック航空で9時にイラクリオン空港に着く池田道雄先輩(38年度卒)と上田佐和子さんのご主人上田新次郎さんを佐和子さんと迎えに行く。お二人ともロンドン、アテネと乗り継いだ長旅にも関わらずお元気な姿で来られた。

ニコラウスへの道中で CAVOK5の故障の状況と今後の予定も大幅な変更でクレタ島長期滞在になるお話をさせて頂いたがお二人とも快くそれなりに楽しむので問題ないと心遣いを頂きホッとする。

CAVOK5の止めてあるアイオス・ニコラウス港まで 60km離れているが高速道路が繋がっているので約1時間強で戻る。

早速シャワーを浴びて頂き、ピーマンに似たペッパーのサラダ、ラタトゥユ、豆の入ったサラダにキュウリとツナ缶を和えた惣菜、そしてソーメンを頂く。機内食ばかりだったお二人には美味しかったようだ。食後散歩で海岸通りと街中を歩いてから暫く午睡する。

丁度復活祭の休みで町は賑わっていた。夕方日の暮れる前に2度ほど行った事のあるマコロスの町に海岸線の風景を見ながら食事に行く。



マコロスは小さな村だが復活祭の祭りで観光客でにぎわい夜10時から小さな埠頭の先で火を燃やし、又花火も上がり盛り上がった。

7時半ごろから食事を始めたがこちらのレストランの亭主が10時から火がたかれるからゆっくり食事をしろと云うことでゆっくり注文しながら食事する。

ザジキを前菜にビールを、そしてギリシャ料理名物ムサカ、イカのグリル、イカのフライ、グreekサラダ、ヒメジのグリルを白

のハウスワインで頂く。

10時過ぎに村を引き上げ途中星空が綺麗だったので人里離れたところに車を止めて星空を眺める。満天の星空だった。

5月5日(日曜日)Ayios Nikolaos 快晴

朝食後一休みした後、前に食事に行ったことのあるエルンダ(Elounda)の海水浴場に泳ぎに行く。

海水浴場が海岸線に点在しており、その中でビーチパラソルとビーチチェアが並べてあるホテル専用の海水浴場が良かったので、ホテルのフロントに使用してよいか確認すると、どうぞご自由にお使いくださいとの事、ここで日光浴と海水浴をすることにする。隣の御嬢さん達はトップレスで日光浴を楽しんでいた。

海水は21度位あり日射で照らされた体にはひんやりする位で気持ち良かった。

お昼は漁港の前のおしゃれなタベルナでグreekサラダ、イカのフライ、イワシのグリル、そして羊を食べる。羊は炭火で丸ごと焼いていて美味しそうだったので注文した。ビールの後、白のハウスワインを飲む。

帰ってからは一休みして夕暮れ時からデッキでおつまみを食べながらウゾとウイスキーの水割りを楽しむ。夕食はお昼の羊の肉が効いたせいかわかりませんがあまり食欲がなく、味噌汁、つくだ煮でおにぎりをご馳走になる。

夕食後10時過ぎに復活祭で今日が一番賑やかだというので行ってみるが昨日がピークの様でそれほど賑やかでなかった。町を歩いていると昨日お店で知り合ったリトアニアの女性と偶然会い明朝CAVOK5で食事の約束をする。

5月6日(月曜日)Ayios Nikolaos 快晴

北西風が強く吹いている。今日が復活祭の最後の休みだそうだ。

朝9時過ぎにリトアニアの女性のイングリダさんがCAVOK5に来てリトアニアの話を始め色々とお話しをする。彼女は大学の先生で休暇を取って旅行しているそうだがリトアニアは緑が多く素敵なおところなので是非来よう勧めてくれた。

朝食後池田さん、上田新次郎さんがいらしたので再度イラクリオンの考古学博物館とクノソス宮殿の見学に行く。



帰りに海岸通りを走り途中の海辺のタベルナを探してそこで食べる。

地中海の海風が心地よくグreekサラダ、イカフライ、小エビのボイル、カタツムリ(オリーブオイルで茹でてあり美味しい)ズッキーニのフライを食べる。ハウス白ワインを1L飲んで何と5人で38.5ユーロうれしくなる

帰りに路地売りのいちご、スイカを買って帰るがいちごは美味しかった。

昼食が終わったのが 3 時過ぎで遅かったので夕食はお腹に優しい日本食になる。上田佐和子さんの持ってきてくれたサバの味噌煮をご飯で頂いたが絶品であった。

5 月 7 日(火曜日)Ayios Nikolaos 晴れ

やっと復活祭も終わりマリナーも営業を始めた。頼りにしているメカニックも来たので今後のクラッチの修理の状況を確認するがアテネの工場は明日からの操業と云うことで明日今後のスケジュールが分かるとの事で明日まで今後の計画は先送りになる。

朝食後クレタ島の東海岸にある Vai の海岸まで約 2 時間のドライブで行く。
途中カモミール、アネモネ、菜の花、夾竹桃そしてサボテンの様に鋭い針を持って小さな綺麗な黄色の花の木がうねる様な丘に咲き乱れて綺麗であった。

その中にポツンと建つビザンチン時代の教会があり見学する。車の無い時代に何にもないこの土地に良く建てたものだ。近くに修道院もあったので苦行の精神だったのか？
Via の海岸は入り江の中で砂地の静かな海水浴場で結構な海水浴客が日光浴をしていた。

海岸を見え渡せるレストランで昼食を食べるが観光客相手なのか味は今一だった。

夕方 6 時前に戻ってからお風呂代わりに海で泳いでシャワーを浴びてさっぱりさす。

夕食はギリシャ料理の米とひき肉をブドウの葉で煮たドルマデースをメインにグリーンペッパー、ジャガイモサラダを赤ワインで、そしておにぎりをあさりの味噌汁で頂く。
静かなマリナーで夕暮れを楽しみなが 11 時過ぎまで楽しむ。

5 月 8 日(水曜日)Ayios Nikolaos 曇り一時雨

朝再度メカニックに修理の行程を聞きに行くがこれからアテネの工場ではクラッチの梱包を開くとの事で午後に再度情報が分かるとの事だった。

今日はここから 200 km 以上東にあるクレタ島第二の都市ハニアに 9 時過ぎに出かける。

長い距離を走るのサンドウイッチの弁当を用意して昼食の時間を節約して走ることにする。イラクリオン、レシムノの町を通過してハニアに着いたのは途中工事渋滞もあり 1 時過ぎになった。途中雨が降ったがハニアに着いた時は雨もやみ日差しも射してきた。

ハニアはヴェネチア時代の歴史のある町で港を囲む街並みは中世の趣を残す。考古学博物館ではハニア近郊の遺跡から発掘されたミノア文化の遺跡を中心に陶器、壁画、モザイク、宝飾品を見ることが出来た。

港の先にある海と船の博物館には紀元前 1500 年前の船の模型から第二次世界大戦に至る船や海戦の様子が展示されていた。特に紀元前 1500 年前から立派な船があったことに感心する。

お昼はいつも 1 時間以上かけて食べるのだが今日はテラスのある BAR でビールだけ頼み持参のサンドウイッチを頂く。町は観光客で混んでいて港の周りにはタベルナ、レストランが沢山並んでいて美味しそうな魚がショーケースに飾られていた。

ヴェネチア時代には沖に大きな帆船が投錨して港には渡しの船で大変混雑している場面が想像出来た。市場とカリフルのスーパーマーケットに寄って 17 時頃ハニアを出発するが帰りはスムーズで 20 時に艇に戻れた。途中国道が整備されていて両サイドは夾竹桃、ところどころ丘には野花在咲き、高台からはエーゲ海が見えて快適なドライブであった。

夕食は新鮮なイワシの鮓目、イワシのフライそれとカリフルで買った鳥の丸焼きをサラダと共に頂く。生姜の入ったイワシの鮓目は素晴らしく美味しかった。

5 月 9 日(木曜日) Ayios Nikoluos 晴れ、曇り雨

今朝もメカニックに修理の具合を聞きに行く。クラッチを分解して調べているとの事だが内部まで破損している部分もあり検査中との事、このクラッチが修理出来ないと日本から新品を取り寄せで 1 か月は掛かるとの事で何とか修理できることを祈る。

午前中に安田さんが奥さんのサリーさんと御嬢さんと一緒に CAVOK5 にお茶を飲みに来てくれる。

お昼スパゲティーを頂いた後、ニコラウスの近くの内陸の小さな町 Kritsa に行く。此処にはギリシャ人と結婚した日本女性がお土産物屋を開いているとの話を安田さんから聞いていた。又リトアニアのイングリダさんからも素敵なビレッジと聞いていた。

日本女性とも会うことが出来た。ギリシャに来て 30 年経つとの事だった。山の中腹に何故瀟洒なビレッジがあるのかなと思うほど小綺麗な町であった。

このところ夕方になるとマリーナの脇にある海水浴場で上田新次郎さんと泳いでいるが今日も泳いでそのままシャワーを浴びて快適な気分でアペリテフを頂く。

夕食は今日も魚屋で朝仕入れたイワシを池田さんお気に入りのイワシ料理で鮓目とフライで頂く。そしてご飯と昆布と梅干でお茶漬けをする。

5 月 10 日(金曜日) Ayios Nikolaos. 曇り時々雨後晴れ

クラッチはアテネでの修理が終わり試運転をして午後 3 時には全ての作業が終了してニコラウスに搬送してくるとの事で 3 時に再度確認することにする。

まだクレタ島の南側に行っていないので半島を横断して南側をドライブするが横断したところの Lerapetra は大きな都市であったがそこから先の西の方は北と南を分ける山脈の裾が広がり海水浴場もなく道路も山裾の上の方を走っていた。

途中町が点在しているがアフリカサイドの地中海の眺望を見ながらのドライブであった。途中見晴らしの良いところにタベルナがありそこで昼食をとる。マトンのグリルが上手に焼けていて美味しかった。ウエイトレスさんが美人で可愛らしかった。

途中雨が降ったり晴れたりドライブであった。

戻ってからメカニックに再度確認に行くとしてすべて OK との事明日搬送して艇に取り付けるとの事でホッとする。明日修理が終わってテスト走行した後夕方にサントリーニに向け出航する予定とする。

池田さん、上田新次郎さんの最初のエーゲ海での航海になるので、昼間に出港したかったが12日は午後から風が強くなるので午前中に着く計画にした。

夕食は8時過ぎに“ラ・ストラータ”に行く。今晚で2回目になるが安田さんの奥さんのサリーさんにメニューを聞きながら注文をした。

クレタ産の白、赤ワインと一緒に、ファカッチアとザジキが混じった6つのソース、イタリアンサラダ、エビのトマト煮、(これはソースがエビのみそ味も加わり美味しかった)ピッツァマルガリータ、イカスパスタ、ギリシャ風ビーフシチュー、カタツムリを食べる。とてもドルチェ迄たどり着けなかった。

5月11日(土曜日) Ayios Nikolaos 曇り

朝 10 時よりアテネより修理を終わって送られた待望のクラッチの取り付けが始まった。1時間強ほどで取り付けも順調に終わり試運転に舳いを解いてポンツーンを離れる。微速前進をかけると前進してホツとしたが回転を上げると以前よりスピードがついてこない。バックを入れるがバックに入らない。ショックだった。

再びポンツーンに戻る。メカニックはこれ以上何も出来ずアテネの工場に連絡を取るが土曜日で相手がいない。結果月曜日に連絡を取って処置をすることで終わってしまう。日本のメカニックとの大きな差を感じる。

池田さん、上田新次郎さんが折角地中海迄来て頂いて一回もセーリングしないで帰国する羽目になってしまう事になり大変申し訳ない。本来は治り夕方に出港して星を見ながら航海をしている予定だったが、港で夕食を頂く羽目になってしまった。

5月12日(日曜日) Ayios Nikolaos 晴れ時々曇り Santorini 島観光

朝9時45分発のカタマランの高速フェリーでイラクリオン港よりサントリーニ島に日帰り観光に行く。



風が強く波もありカタマランも揺れがあり窓ガラスが波に洗われていた。

約2時間でサントリーニに着き船着き場でレンタカーを借りてフィラの町へ、上田夫妻はロバに乗りオールドポート迄の下りを楽しみ、我々はケーブルの到着口近くにある見晴らしの良いテラスでギリシャコーヒーを飲みながら待つ。

2度目のサントリーニだが断崖絶壁の上に建つ白い家々、上から見る海の青と素晴らしく美しい景観だ。

次に島の北端に位置するイアの町に行く。

フィラに勝る様な美しい街並みと景色を楽しむ。イアの町の下には小さな漁港があり猫の額のような狭い船着き場にシーフードレストランが並んでいる。

昨年も行ったタベルナで 1.2kgの黒鯛を一匹グリルしてもらう。一匹66ユーロしたが新鮮で味も鯛の味で大変おいしかった。

遅い昼食が終わったのが5時前になり5時55分発の帰りの高速フェリーに乗り遅れないように道を間違えないよう港に行く。帰りは行きの時より荒れて船酔いの人が沢山いた。

艇に戻ってからは昼食を遅く沢山食べたのでお腹がすいてなく、生ハム、チーズで一杯飲んで就寝する。

いつもレンタカーを借りるがギリシャではレンタカー代が安く、例えばニコラウスよりイラクリオン迄約60kmをバスだと一人往復で 14 ユーロ、レンタカーだと一日 30 ユーロなので 5 人だとはるかにレンタカーを借りた方が安くなる。

5 月 13 日(月曜日)Ayios Nikolaos 晴れ後曇り

日本のヤンマーに電話で故障について聞くが要領を得た回答は聞けなかった。メカニックが来て再度クラッチを外してアテネに送ることになった。

アテネの工場がヤンマーと連絡をとり再度の修理を確認したようだ。

明日池田さん、上田新次郎さんが帰国するので今日はゆっくりここで過ごすことにする。

上田夫妻が午前中、町で大きな100ユーロするロブスターが42ユーロで食べられる交渉をしてきたのでお昼は豪勢にロブスターを食べに行く。店はラ・ストラダの前にあったがラ・ストラダと同じ店でそこでロブスター、パスタ、リゾットを白ワインで食べる。ソースと共にロブスターを美味しく味わうことが出来た。

午後池田夫妻は海水浴に、池田さんは散歩にそれぞれのんびり過ごす。

クレタでの最後の晚餐はイワシのレモンとオイル漬け、イワシの鮭目、ムール貝そしてメインにラムのグリルをスパークリングワイン、ロゼ、赤ワインで頂く。

5 月 14 日(火曜日)Ayios Nikolaos 曇り時々雨

今日は池田先輩、上田新次郎さんが帰国する日だ。イラクリオン空港 2 時発の便なので朝食後荷物をパックして 12 時前に車で上田佐和子さんと見送りに行く。

結局エーゲ海クルーズが出来ず、お二人には大変ご迷惑をおかけして申し訳ない事をしたが楽しく過ごして頂いたことに大変感謝している。

空港でお昼を食べてお別れをする。アテネ経由ロンドンで一泊後、成田への長旅になる。

艇に戻ってからのんびり過ごす。

お二人が帰り寂しくなったが 3 人でハモンセラーノ、ガーリックポテト、ラタトール、チキンヒレのソテーを白ワインで、そして白いご飯と塩昆布、シジミのつくだ煮で頂くが美味しかった。クラッチの修復を願って休む。